

2023年1月23日

国立大学法人金沢大学
学長 和田 隆志 様

金沢大学教職員組合
執行委員長 小林 信介

大雪や大雨等の荒天が予測される場合の対応について

大雪や大雨等の荒天が予測される場合の対応について、以下の通り要求します。

記

1. 大雪や大雨等の荒天が予測される場合、在宅勤務、遠隔授業とすることを基本方針とし、教職員および学生に対して、前日までの出来る限り早い段階でアナウンスすること。
2. 大学本部として統一的な判断ができない場合も想定し、部局が独自に率先して、教職員と学生の安全を最優先に対応できるよう、平時より周知すること。

(補足説明)

2022/12/23 の大雪の影響で、当日、対面授業を取り止めて遠隔授業に切り替えるアナウンス（教員の個別の判断で前日の段階で遠隔授業に切り替えたケースもあるが、正式なアナウンスは当日の2限目や3限目以降の授業から）、また教職員についても早期帰宅を促すアナウンスがありました。

遠隔授業への切り替え等の学生対応については、大学本部と各部局、事務部局と教員部局の意思疎通が十分に取れず、大学としての対応が不統一で一貫性が無いものになりました。

天候を予測して迅速に適切な対応することが難しいことは理解していますが、とりわけ12/23の大雪については、前日の天気予報で報じられ、国土交通省北陸地方整備局は不要不急の外出を控える協力を求めるなどの緊急発表を12/22に出していたことから考えても、大学としても教職員や学生の安全に配慮して、前日までに在宅勤務、遠隔授業への切り替えのアナウンスをすべきでした。

今後においては、迅速に適切な対応が取れる体制とするようご検討くださるようお願い申し上げます。

以上